

天候に恵まれ少人数での森活動！

●今年初めての「浦高百年の森」

今日15日(日)は、令和2年「浦高百年の森」第1回

現地活動(除間伐等)でした。今年は、新型コロナ禍の影響で夏7月の活動がなく、1年振りの現場活動でした。

今回は浦高や寄居駅からのバス運行はなく、現地集合できる人たちだけの参加ということで、私たち春日部地区浦高会参加の鳥井隆一郎さん(11回)と私は朝7時に春日部駅西口を出発し、途中、7時20分に新白岡駅で石田知己さん(16回)をピックアップ、9時20分に冷水宣雄さん(11回)をピックアップして9時45分に寄居町風布の森に到着しました。途中の「みかん園」には多くのみかん狩りの観光客が来られておりとても賑やかでした。

夏に玉熊英一・百年の森委員会委員長(26回)と篠田政雅彦・同窓会事務局長(32回)のお二人が作業道の草刈りをしていただいたおかげで体験の森にまで難なく登ることができました。開会式では、玉熊委員長から「新型コロナの影響で現地集合での開催となりましたが、28名の皆様にご参集いただきありがとうございます。天気も穏やかで絶好の森活動日、作業道と体験の森の整備を中心に2時間程度の作業を行い、昼には保護者OGの4人の皆さんが作ってくださるキノコ汁をご堪能ください。無理なく怪我なく作業をしていただくをお願いします」とのご挨拶がありました。最年長の11回生(御年80才)から18回(73才)までが体験の森整備、若手の19回(72才)~68回(23才)までが作業道の整備に振り分けられました。私は若手の作業道担当で、約1時間半を斜面で除草(笹や葛の蔓を払い、桜や樫などの植栽木の育成を邪魔する草木を払う)作業を行いました。休憩時に低血糖から貧血手前の状態になるも、小室正人・前森委員長(19回)からチョコレートをいただき、何とか無事に作業を終えることができました。昼には美味しいキノコ汁とアルファ米(かやくご飯)をいただき、元気を取り戻すことができました。12時40分の閉会式では、私にとって今年6月の就任以降初めて同窓会副会長として締めのご挨拶をさせていただきました。「皆様、お疲れ様でした。怪我なく作業を終え、帰路も無事にお帰りください」と。



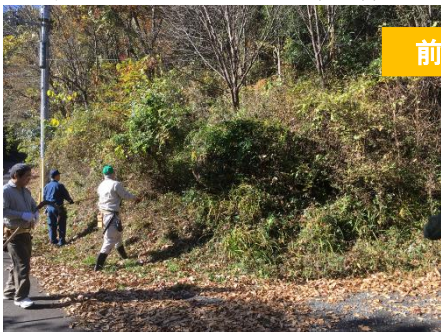
紅葉のカエデ、左側が「百年の森」



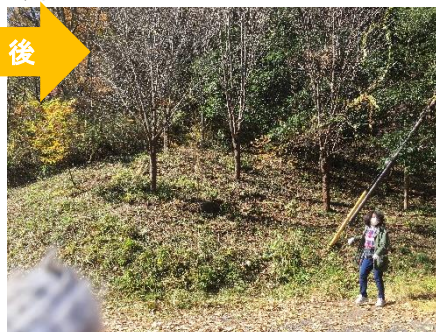
開会式は玉熊委員長のご挨拶から



作業道の両側の除草を行いました



小室前森委員長の指導で伐採開始



約1時間で雑草類が綺麗に！



春日部地区浦高会の3人



全員で記念撮影！



25期会のトチノキも順調

11回の冷水宣雄さん、16回の石田知己さんの現地活動38回連続の皆勤賞は続いており、素晴らしい！！